

岡山、鳥取、島根3県のロータリークラブが、地域社会の課題解決に取り組みボランティア団体や個人の活動を支援するための「キラリ☆一番星アワード」を展開中だ。応募者の中から選ばれる金賞4件にはそれぞれ副賞50万円が贈られる。

ナース事務局（倉敷市白楽町249-15 倉敷商工会議所3階、電話086・421・2690）
奨学金制度も多彩
ロータリークラブでは様々な奨学金制度も実施している。大原美術館の学芸員である孝岡睦子さん（34）は地区補助金奨学生制度に興味を持ち、今年

つて1952年に始まった同制度は民間最大の奨学金制度で、日本全国のロータリークラブ会員の寄付を財源として年間800人の留学生に返済義務のない奨学金を月額14万円給付している。岡山、鳥取、島根3県の地区内でも今年度は

26名が同奨学生に選ばれた。来日後に同制度を知り、応募したという留学生も多い。世界最大規模の奉仕団体でありながら表に出る機会の少ないロータリークラブだが、意外に身近なところに接点がありそうだ。

ロータリー☆一番星アワード」応募者募集中

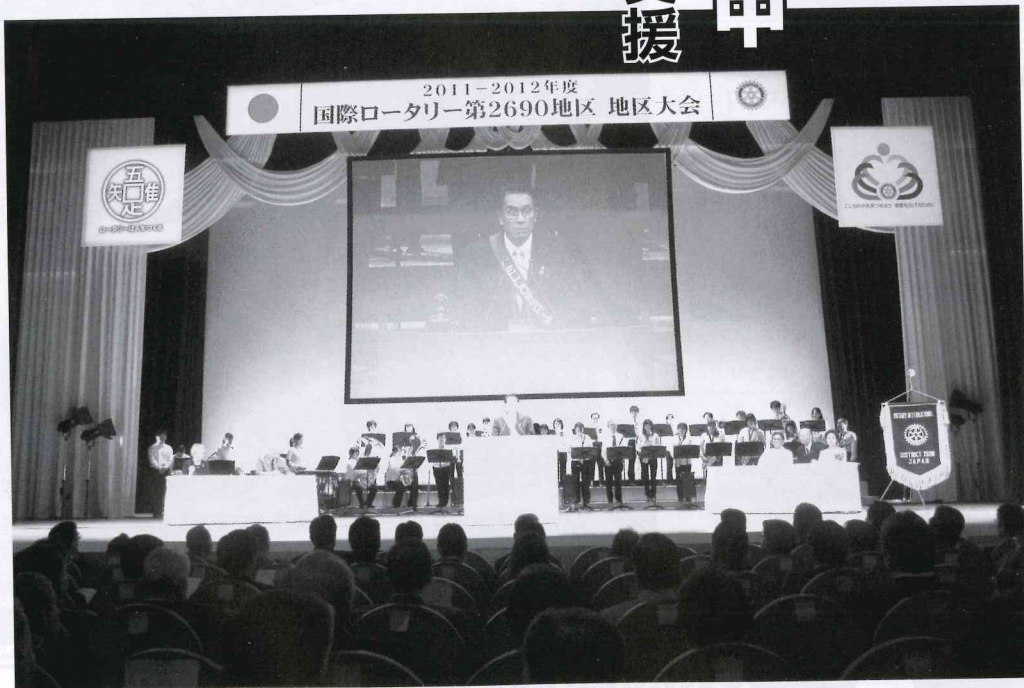
ロータリークラブが社会貢献活動を支援

ロータリークラブはアメリカを拠点とする世界的奉仕団体で、第2690地区と呼ばれる岡山、鳥取、島根3県には約3千名の会員がいる。本年度地区を統括する森田昭一郎ガバナー（倉敷市本町の森田酒造代表取締役）は、「まちづくり」または「環境保全」に取り組んでいる民間ボランティア団体や個人を顕彰する「キラリ☆一番星アワード」を発売。8月31日まで応募者を募集している。

対象となる団体・個人は岡山、鳥取、島根3県のいずれかに拠点があり、5年以上の活動実績があることが条件。また情報開示を行なっている必要がある。応募者の中から11件が表彰され、副賞として金賞4件に50万円、銀賞7件に5万円が贈られる。

応募希望者は国際ロータリー第2690地区の公式ウェブサイトを（<http://www.rid2690.org.jp>）からエントリーシートをダウンロードし、必要事項を記入して最寄りのロータリークラブへ電子メールで転送すればよい。岡山県内には39のロータリークラブがあり、それぞれの連絡先も同サイト上に記載されている。

「キラリ☆一番星アワード」審議会がエントリーシートを見て書類審査し、10月に受賞者を発表する。問い合わせは森田ガバ



毎年秋に開催されるロータリークラブの地区大会